

第 2 4 回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<p>話し合いの会を何回も傍聴したが都側の説明は常に外かんの 2 計画ありきの説明であり、外かんの 2 が造られることによるデメリット等のデータはほとんど示されることはなかった。メリット・デメリット両方を示して必要性を話し合わなければ住民が納得できるわけがない。又、住民の質問に対して納得できる回答はほとんどなくこれではなぜこの道路が必要なのか住民は理解できない。この会は「話し合いの会」となっているが行政と住民との真の話し合いは一度もなされていないのではないかと心配になる。都は何の為にこの話し合いの会を開催しているのか。住民と話し合ったというアリバイづくりの為にしか思えない。一時的に休会とのことだが都で行なわれた PI 会議のようにそのまま再開されないこともあるのではないかと心配になる。休会ということであれば必ず再度開催するよう要望する。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・会の構成員の総意である、地上部街路計画は即こく廃止すべきであると考えます。 ・中間のまとめを作成されるのであれば、こうした構成員の発言や思いを、しっかりと正しく反映させていただきたいと考えます。
3	<p>結局話し合いの会の目的がわからないのです。都は本当の所何のためにこれを立ち上げたのか、24 回やった意味は何だったのか、報告書を楽しみにしております。</p>
4	<p>この話し合いの中で論点になっていない質問ですので、是非お返事下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外環本線が地下となりましたが、このルートには危険物投載車両は通れない（三中で行われた地域の話し合いで確認している）と思われますので、その車両をどこへ流すのかをお聞きしたいです。それが住宅地を通る「外環の 2」に流すつもりなのではないかと不安です。 ①コミュニティー分断は深刻 ②メリットを感じられずデメリットが多い ③都の理由が理解、実感できない、などなどの理由で大反対です。 ・この回の議事録の送付をお願いいたします。 ・休止とするならば、再会時に向けて新たな構成とやり方を教えて下さい。初めに危惧していた東町 4 丁目が抜けていることが納得いきません。南町 5 丁目と東町 4 丁目が一区間とすることが間違っているからです。
5	<p>(1) 公共の利益があるかということは、地域住民を納得させられるかだが、それができてないというのが今日の構成員の意見から明らか。その責は都の姿勢にあるといえる。</p> <p>(2) 宮本小路の交通量の変化は直感的におかしい。古谷構成員の発言のように客観的、科学的データ根拠を出すべきであり、そのようなことをしなかったことが (1) の都の誤った姿勢による。</p>

6	<p>都の説明で外環本線と「外環ノ 2」は別々の計画であると言っているが、武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会では、構成員の質問に対し一体のものであると応えている。訴訟の判決にも、実質一体の計画であったと考えるのが相当である、という指摘がされている。昭和 41 年（1966 年）の計画であるとしているが、当然一体の計画であったのであり本線地下化に伴い廃止されるべきなものが「外環ノ 2」の計画の所である。南北道路は、練馬区内の補助 135 号とか、ほかの既存道路の拡幅等で解決できるので、閑静な住宅地をなぎ倒してまで整理するべき必要性はない。費用的にも不適である。</p>
7	<p>「たたき台」は部内では単なるたたき台、どう変化させてもかまわないと考えているであろうが、対外的、住民に示したものは、提出した方が簡単に変えられるものではない。「たたき台」にあるイラスト、都知事、国交大臣の発言からすれば、外環の 2 は地上からなくなったと見るのが当然である。外環の 2 がなくなった以上、都が提案した地上部街路は新しい道路と見るべきで、新しい道路がこの地に必要か否かを検討しなければならない。構成員の皆さん方が発言された通り、必要性は全くない。むしろ弊害の方が多い。あった方がいいと言う方は、自分の利便性のためで、町の平穏やコミュニティなどには関心があまりない人である。</p> <p>計画から 50 年も経ったものは、計画時と状況が変化してしまい、造られた時には陳腐なものになってしまう。即刻廃止すべきである。長い間構成員の方々と司会者の方は、本当に御苦労様でした。御礼申し上げます。</p>
8	<p>第 1 回から 6 年あまりにわたって傍聴を続けてきたが、住民構成員からの疑問、質問に対し東京都の答弁はすりかえや逃げが多く、誠実さが見られず苛立ちを覚えることが多かった。結局都が主張した外環 2 の必要性について住民側は納得せず、住民側構成員の全員が外環 2 に反対、計画の撤回を求めるという結果に終わった。とりまとめに当っては当然のことながら、以上の事実を公正・忠実に記録することを強く求める。また傍聴者の意見カードについてはフォローがなく、黙殺された形で終わったが、まとめの中にきちんと採録し、残すことを求める。(以上)</p>